

復興教育の指導目標	教育的価値	教育課程
学校教育活動全体を通して、復興教育の教育的価値を位置付けた学習活動を展開し、心豊かにたくましく生きる力および地域・社会の将来を担う人材を育成する。	2【かかわる】	全領域

【テーマ】 「ふるさとを元気に！笑顔発信 小本小学校」

【対象】 全学年

【本校における復興教育の視点】

- 1 郷土を愛し、復興・発展を支える人材を育てる。
- 2 震災と向き合い、体験そのものを教材とし、児童の生きる力を育む。
- 3 震災に関する一連の対応を、学校教育活動として有機的に関連付けて指導する。
- 4 本校の状況や児童・地域のニーズを踏まえて活動に取り組む。

【実践の概要】

本校では今年度の教育課程に復興教育の視点を位置付け、学習指導を計画し推進することとした。全学年の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などの学習領域において指導内容を吟味し、内容に応じて復興教育のねらい・重点とのかかわりやその軽重を見極め、関連付けを図りながら学習活動を展開した。

毎日の教育活動を通して、児童の生きる力の育成と復興教育の目標達成への指導が相乗効果をもって推進されるよう実践に取り組んだ。

小本の伝統芸能
「七頭舞・七ツ舞」



今年度の発表会も「復興の舞」と題して練習に取り組み、地域の人々に勇壮な舞を披露した。

平成25年度 小本小学校 復興教育推進の重点

【低学年】

今年度の重点項目	想定される具体的な学習時間
やり抜く強さ	係活動 たてわり掃除 道徳 生活全般
家族の絆	道徳 生活科 お手伝い PTA親子行事

【中学年】

今年度の重点項目	想定される具体的な学習時間
やり抜く強さ	係活動 たてわり掃除 道徳 生活全般
自分と地域社会	介護施設訪問 運動会 学習発表会 七頭舞・七ツ舞発表会 地域学習(総合一仮施設 設見学・鮭・社会科見学)

【高学年】

今年度の重点項目	想定される具体的な学習時間
自分と地域社会	介護施設訪問 運動会 学習発表会 七頭舞・七ツ舞発表会 児童会活動 地域学習(総合一復興会議、地域特産品販売)
夢や希望をもつ大切さ	キャリア教育(総合) 道徳

【全学年共通】

今年度の重点項目	想定される具体的な学習時間
かけがえのない命(生命尊重)	避難訓練 介護施設訪問 復興集会 保健・性指導 道徳 国語 理科等学習指導全般 ※生命の尊さ、生き生きと生活することの大切さ(自己存在感、肯定感、有用感、達成感、所属感、自己実現等)
ボランティア	介護施設訪問
学校・家庭・地域での備え	避難訓練 生活科・社会科、総合的な学習
身を守り、生き抜く技能	避難訓練 交通安全教室

【実践例】

<1・2年生 生活科>

これまでのボランティア教育のねらいに加え、地域のお年寄りを元気にしようという視点をもたせて活動した。



<3・4年生 総合的な学習の時間>

学校での鮭の孵化・飼育体験をするため、地域の方に指導をいただいた。ふるさとの海がもたらす恵みに感謝を深めた。



<5年生 総合的な学習の時間>

ふるさとの観光資源や復興に関わる人々への思いにふれることにより、復興に向かう自分たち自身の思いを深めることができた。



6年生 総合的な学習の時間

単元名「小本のために、今わたしたちができること」

◆本単元の指導目標

これまで学習し実感してきた、復興に向かう小本の人々の思いや懸命な努力、また地域の現状を知る活動をもとに、小本のために、今自分たちができることを考え、行動することを通して、郷土への愛情を深める。

◆学習活動の実際

本単元では、これまで懸命に復興に取り組む人々の思いや地域の状況について学習してきた児童に、「震災からたくさんの人々に支えられてきた。今度は私たち自身が、ふるさと小本のためにできることはなにか、考え行動しよう。」と投げかけ学習活動を開始した。

児童は郷土の特産品を広くアピールし、たくさんの人に岩泉町・小本を知ってもらうことで、復興に向かうふるさとを活気づけようと活動目標を共有し取り組みを進めた。

事前の学習として、岩泉町の特産品の種類やその生産・流通・販売に関わる人々の思いや努力について、地元の岩泉産業開発からご協力いただき活動を行った。児童は、岩泉町の自然環境を生かした何種類もの商品が生産・販売されていること、また消費者に品物が届くまでには地域の多くの人々が関わっていることを知ることができた。また、お客様への明るいあいさつや表情また看板やポップの表現の仕方や配置など、商品を買っていただくためのマナーや工夫についても学ぶことができた。

販売活動当日は盛岡市肴町商店街のご協力もあり、本当にたくさんの方々に来ていただき商品を完売することができた。活動後、児童からは安堵と達成感による喜びの声がたくさん聞かれ、素晴らしい活動となったことを実感した。

本単元の学習においては、地元商品の生産・流通・販売を切り口とした地域理解、販売のための事前学習や準備を通じた学びやコミュニケーション能力の高まり、そしてふるさとのために主体的に行動し役立つことができたという深い自己有用感や達成感を得ることができた。児童自身の復興への思いや郷土への愛情、そして自己のあり方を深く感じ、見つめる学習となったと感じた。



販売活動に向け子どもたちが自作したポップや看板



販売活動の事前学習



盛岡市での販売活動の様子



売上金は全額岩泉町に寄付した。

【まとめ】

今年度の学習の成果として、児童が復興への切実感をもち生き生きと学習に取り組む姿、また、地域の現状や人々への関心を高め、現在の自己のあり方や未来への夢を語るようになった姿から、児童の郷土を愛する心、そして学習・生活に対する主体性の深化ととらえている。

課題として、今後の復興状況や地域・児童等のニーズに応じた学習展開のあり方、また、震災体験を引き継ぎ、さらなる主体的なかかわりを通じた郷土愛と生きる力の深化ととらえている。

児童が過酷な震災体験から得たものを糧とし、復興を目指す一人としての自覚を深め、たくさんの夢や希望をもち、たくましく豊かに生きる力を高めていけるよう、次年度のさらなる教育活動の充実につなげていきたい。